

現代日本学概論 II 「現代日本における職業」

授業のまとめ

田中重人 (東北大学文学部教授)

[テーマ] 授業全体のまとめ

1 習得してほしかったこと

- 各分野の基本的な概念と考えかた
- 現代日本における具体的な状況 (制度とデータ)
- 統計や法律などを調べる能力
- 習得した事項を、別の場面・文脈に応用する能力
- 特定の文章に基づいて内在的に論じる方法
- データ／モデル vs. 値／規範

2 労働問題と現代社会

近代化と労働、家族、福祉の制度変化

- 労働と社会権
- 労働とマクロ経済
- 人口移動と労働

いわゆる「日本の経営」について

- 終身雇用
- 年功序列
- 企業別労働組合

政治と労働

- 「労務」の性質と自由権
- 労働と平等権 → 差別の禁止と実質的平等
- 労働行政
- 集団的労使関係
- 労働運動と社会的勢力

人生と労働

- アイデンティティと職業
- 人間関係と職業
- 労働と意識
- 不確実性とキャリア

3 社会科学の考え方

- 再帰性：研究成果が研究対象を変える
- 主観性：研究者自身が測定装置
- 規範性：「社会はどうあるべきか」「私たちはどうすべきか」が重要

言語学との親近性

自然科学(たとえば物理学)とはどこがちがうか?

医学や歴史学や文学や数学とのちがいは?